

# 「三重県総合教育センター メール通信」

第3号（平成27年11月27日発行）

## 特集No.1



### 学力向上に向け、活用力を育む授業づくりを！

～平成27年度全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙の結果から見て～

本県における本年度の全国学力・学習状況調査結果を見てみると、全ての教科において、大きく改善が見られるものの、「書くこと」になお課題が見られます。

〈「書く」活動について〉

(44) 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

校種		はい	どちらかといえばはい
(小学校) 児童	三重県	41.2%	25.6%
	全国	33.4%	26.7%
(中学校) 生徒	三重県	40.1%	26.9%
	全国	36.7%	27.7%

・小中学校ともに長文で表現することを難しいと感じている子どもの割合が全国より高い。

(53) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

校種		はい	どちらかといえばはい
(小学校) 児童	三重県	20.7%	39.6%
	全国	23.1%	42.1%
(中学校) 生徒	三重県	15.6%	39.5%
	全国	17.7%	41.5%

・小中学校ともに国語の授業で自分の考えを話したり、書いたりする活動の割合が全国より低い。

(55) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

校種		はい	どちらかといえばはい
(小学校) 児童	三重県	31.0%	40.4%
	全国	32.1%	40.6%
(中学校) 生徒	三重県	21.2%	42.5%
	全国	22.0%	43.7%

・小中学校ともに自分の考えの理由が分かるように気を付けて書く割合が全国より低い。

(67) 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

校種		はい	どちらかといえばはい
(小学校) 児童	三重県	53.7%	28.8%
	全国	55.2%	28.6%
(中学校) 生徒	三重県	45.0%	34.6%
	全国	45.8%	34.8%

・小中学校ともに算数・数学の授業で解き方や考え方を分かるように書く割合が全国より低い。

以上のような結果から、結論だけでなくプロセスや理由・根拠を子どもたちに説明させる等の言語活動を日常的に行っていく必要があります。そのため、授業の中で実際にどのような問題を提示していくとよいか、また、どの程度、力が定着したかを図るためにはどのような問題が適切であるか、日々、悩んでみえる先生も多いことでしょう。

そこで、問題づくりを通して子どもたちの活用力を育むために2つの出前研修で先生方を支援します。

## ～小学校国語の問題づくり出前研修～

## ～小学校算数の問題づくり出前研修～

各学校の子どもたちに身に付けさせるべき力を明らかにしながら、活用力を育むことのできる問題づくりの手法を学び、授業改善につなげます。

### <研修進行例> (90分～120分)

【講義】問題づくりのポイントを学びます。

【演習】実際に問題を作成します。

①個人による問題作成

↓ 出題の意図を明確にした問題作成

②グループ討議

↓ 作成問題のブラッシュアップ

③全体討議

学びの全体共有



【振り返り】研修での学びを自分化し、自らの授業改善につなげます。

### <講師>

大学等教員、指導主事等

学校からの要請に応じて研修企画・支援課でコーディネートします。

### <申込先>

お申込み、お問い合わせは、研修企画・支援課 企画・支援班まで

Tel 059-226-3428



